

千葉県魅力ある建設業推進協議会(CCIちば)

小学校出張授業

千葉市立千草台小学校

千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）は、10月23日（水）千葉市立千草台小学校6年生約70人を対象に、建設業に関する「出張授業」を開催いたしました。

今回の授業は、昨年度より実施されている「造園業特化型建築プログラム」として行われました。

当協会から広報委員長の湯浅 浩一さん(株)ユアサ園芸)、委員の海瀬 大五郎さん(株)サンライズグリーン)が講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会の市野 敬介さんが司会進行を務め、3時間目（45分間）に授業を行いました。

まず、市野さんが「千葉県の建設業のお仕事」をテーマに、「学校の建築現場」を題材にして、5人の人物の仕事を、場所と道具を照らし合わせてクイズ形式で楽しく伝えていきました。

次に造園業の紹介として、湯浅さんが、市川市の姉妹都市であるフランスのイッシー・レ・ムリノー市に造った日本庭園「市川庭園」の話をしました。

当時、湯浅さんが代表理事を務めていた市川造園建設業協同組合に、市川市から庭園を造ることを提案されて実

施した経緯や、灯籠を日本から運んだこと、日本のような松がなく苦労したこと、飛石の施工に苦労したこと、竣工式で桜の木を植樹したことを話しました。

次に海瀬さんが、造園工事の紹介として、市川市に令和5年3月にオープンした公園「びあぱーく妙典」について話しました。

「身障者の方とも一緒に遊べるインクルーシブな公園」のコンセプトのもとに造られた、車いすに乗ったまま遊べる「築山遊具」や、階段でなくスロープで上がることができ、幅が広く保護者と一緒に滑れる「すべり台」を紹介しました。

また、「どろんこ広場」や「土管のトンネル」「人工芝で滑って遊べる山」があり、自分で遊びを考えて遊べる公園であることを説明しました。

最後に講師2名より、「造園業は、工事の最後に行う作業であり、出来栄が工事全体の印象を決める非常に大切な業種です。女性の感性が活かせる仕事でもあります。是非女性の方にも興味を持っていただき、大人になって造園業を選んでくれたらうれしい」と伝え、大変好評の中、授業を終えました。

（広報委員 海瀬大五郎）



千葉市立千草台小学校 出張授業風景

千葉市立畑小学校

千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）は、11月28日（木）に花見川区にある千葉市立畑小学校にて6年生の45人を対象に、建設業に関する「出張授業」を開催いたしました。

今回の授業も、昨年同様に「造園業特化型建築プログラム」の一環として行われ、当協会広報委員会の副委員長の松戸 克浩さん（株新松戸造園）と委員の豊田 祐二さん（京成バラ園芸株）が講師として参加しました。

授業はNPO法人企業教育研究会の市野 敬介さんが司会進行を務め、4時間目の45分間で行われました。

まず市野さんが「学校の建築現場」を題材にして、登場した5名の人物の仕事内容を、画像を通してながらクイズ方式で説明をしました。児童たちは、市野さんのヒントを聞いて答えを導き、当たった外れたと盛り上がりながら建設現場で働く人達の話に興味深く聞き入っていました。また松戸さんが持って来た、植栽基盤診断で使用する「長谷川式土壌貫入計」の実物を見せ、実際に計測する様子も見てもらいました。

次に墜落制止用器具と腰道具を装着した松戸さんが登場しました。松戸さんは、ご自身の会社でのSDGs

への取り組みや、女性が活躍できる職場である事を話し、造園業での働く人達の様子等を分かり易く説明しました。今回も松戸さんが身に着けているフルハーネスに興味津々に触っている児童がいましたが、命を守る道具である事を知った時には感じ入った様子でした。

その後豊田さんが、造園の仕事は公園作るだけでなく、公園を造る為に必要な材料を作る仕事もあるという話を「バラ」を題材にして話しました。バラが7,000万年前の白亜紀後半の恐竜が絶滅するちょっと前の遙か昔から存在していた話や、品種改良に使用された原種のうちの3種類、ノイバラ、テリハノイバラ、ハマナスは日本原産と言う話に児童たちは驚いていました。品種の分類の話では、樹形による分類、花の色・形・香りによる分類がなされている事を話しました。

最後に市野さんが造園業は建設業の中で唯一生き物を扱う職業でSDGsに大きく貢献出来る業界である事を話し、この授業を通し造園業に関心を持ってもらった人の中から、一人でも多くの方が造園業の道に進んでもらえると嬉しいです、という言葉で締めくくりました。

（広報委員 豊田祐二）



千葉市立畑小学校 出張授業風景